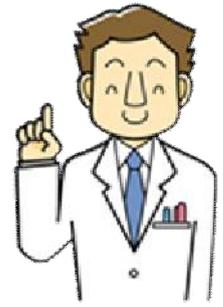


NCP 第42回 オープンセミナー



日時： 2018年8月19日(日曜日) 9:45-13:00

場所： 高見研修センター(スギヤマ薬品研修センター 2F)
〒464-0073 名古屋市千種区高見1-1-5 TEL.052-757-5411

参加費： 3,000 円 (学生：無料) 定員： 90名

今回のセミナーは腎疾患をテーマに企画しました。

薬剤師の職務は処方薬の監査と服薬指導のみならず、重症化しない為の生活指導をも問われる時代となりました。透析患者にならない為の生活習慣病服薬指導には運動と食事について学ぶ必要があるとともに、腎疾患とは何かを今一度理解し、地域医療に貢献する薬剤師としての活躍を期待しています。

～セミナー運営委員より

■講演1 9:45-11:15

『腎疾患の診断と治療』

講師：愛知学院大学歯学部附属病院内科学講座 教授 松原 達昭 先生

尿生成に関わる水分・電解質の調節、酸塩基平衡の調節、代謝産物や老廃物の排泄の働きを腎機能といい、通常糸球体濾過量(GFR)により評価されるが、クレアチンクリアランスで代用することが多い。他に、腎機能の指標として、血清クレアチニン(Cr)、血液尿素窒素(BUN)、そして、GFR推算式(eGFR)等が临床上汎用されているが、その解釈にはそれぞれ注意すべき点が見られる。近年、腎機能低下が慢性的に進行するすべての腎疾患(原疾患：糖尿病、高血圧、腎炎等)の包括的疾患概念である慢性腎臓病(CKD)が着目されている。CKD治療の目的は、GFRの低下を抑制して末期腎不全への増悪を回避させ、また心血管疾患合併を予防して、生命予後の改善と生活の質を向上することにある。原疾患の治療とともに、付随する危険因子(肥満、喫煙、脂質異常症等)是正のために、食事療法や生活習慣の改善、薬物療法が必要となる。本セミナーでは、これらの話題を中心に概説する予定である。

休憩： 11:15 ~ 11:30

■講演2 11:30-13:00

『腎機能を守る栄養と食事指導』

講師：愛知学院大学心身科学部健康栄養学科 教授 森 圭子 先生

慢性腎臓病(CKD)は日本腎臓学会 CKD診療ガイド2012によると、日本国内に1,330万人(成人の8人に1人)、平成26年の患者調査では、治療を受けているとされる患者推計数は29万6,000人(男性約18万5,000人、女性約11万人)にのぼり、新たな国民病と言える状態である。CKDは血液透析を要する末期腎不全に至るだけでなく、脳卒中や心筋梗塞などの心血管病あるいは、認知機能障害とも関連することが判明している。したがって、国民の健康寿命延伸の大きな阻害因子と考えられる。また、CKD増加の背景には、生活習慣病(糖尿病、高血圧、肥満、脂質異常症など)の増加が主因とされ、CKDの予防・治療の基盤は食事内容・生活習慣の適正化、薬物治療にあり、医師、看護師、薬剤師、栄養士、保健師などの多くの職種が緊密に連携することが求められる。本日は、CKDの食事療法のポイント、および、かかりつけ医のもとで、管理栄養士が派遣され、生活・食事指導を行う際の注意点について概説したい。



【アクセス】

今池駅より・③番出口より徒歩にて約10分
東部医療センター前

【お申込み方法】

両セミナーともHP: <http://www.nicp.jp/ncp/>
の参加申込みフォームよりお申込み下さい。
定員に達しない場合にのみ、当日受付を致します。

【連絡先】 NPO名古屋臨床薬剤師研究会 事務局

名古屋市千種区吹上1-2-15-5F (株)名古屋臨床薬理研究所内
Tel 052-733-7601 Fax 052-846-2888